



## 平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月14日

上場会社名 株式会社C&Gシステムズ 上場取引所 大  
 コード番号 6633 URL <http://www.cgsys.co.jp/>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山口 修司  
 問合せ先責任者（役職名）取締役管理統括部部长（氏名）大野 聡太郎（TEL）03（6864）0777  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	2,238	6.9	118	—	119	—	76	—
22年12月期第3四半期	2,094	8.3	△74	—	△59	—	△62	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年12月期第3四半期	6	97	—	—
22年12月期第3四半期	△5	56	—	—

#### （2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年12月期第3四半期	3,949		2,042		51.3	183	39	
22年12月期	3,841		1,983		50.8	176	85	

（参考）自己資本 23年12月期第3四半期 2,025百万円 22年12月期 1,953百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年12月期	—		0	00	—		0	00	0	00
23年12月期	—		0	00	—					
23年12月期（予想）							0	00	0	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,178	13.8	118	—	114	—	91	—	8	24

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動： 無

新規 - 社（社名） - 、除外 - 社（社名） -

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更： 有

② ①以外の変更： 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	11,982,579株	22年12月期	11,982,579株
23年12月期3Q	937,062株	22年12月期	937,062株
23年12月期3Q	11,045,517株	22年12月期3Q	11,160,115株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの寸断や生産活動の停止等から徐々に回復し、一時の急激な落ち込みから持ち直しました。一方で、長期化の様相を見せる円高や、欧州に端を発する金融市場の不安定化およびそれに伴う海外経済の減速懸念など、先行き不透明感が強まりました。

当社グループの主要顧客である金型関連業においては、設備投資の先行指標となる工作機械受注統計（日本工作機械工業会）によれば、当第3四半期連結累計期間における工作機械受注総額は、外需が牽引し前年同期比4割増、うち金型向けでは前年同期比3割増で推移いたしました。ただし国内金型生産額（経済産業省「機械統計」）においては、前年同期比（8月までの累計）と比較し、同程度の生産額に止まっております。

このような状況下、当社グループは、CAD/CAM新シリーズ「CGシリーズ」拡販に向け、国内外代理店開拓を引き続き推し進めました。また工作機械関連、金型関連の協力各社とのイベント出展等を通じ連携を強化してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高22億38百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益1億18百万円（前年同期は74百万円の損失）、経常利益1億19百万円（前年同期は59百万円の損失）、四半期純利益76百万円（前年同期は62百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### (CAD/CAMシステム等事業)

CAD/CAMシステム等事業においては、国内では、円高や震災の影響等により製造拠点の海外流出が顕著になる中、設備投資意欲は低調に推移いたしました。一方海外販売では、アジア地域で複数の大型案件が売上に寄与するなど、好調に推移いたしました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるCAD/CAMシステム等事業の売上高は20億36百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は4億4百万円（前年同期比93.8%増）となりました。

#### (金型製造事業)

北米で展開している金型製造事業においては、当第3四半期においても、ユーザの受注環境の動向変化の影響を受け納期が遅れたこと、さらに円高が影響したことから、売上は低調に推移したものの、当第2四半期前半までに確保した利益により、第3四半期連結累計期間では黒字を維持いたしました。以上の結果、金型製造事業の売上高は2億2百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益は0百万円（前年同期比97.3%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億7百万円増加し、39億49百万円となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金69百万円、たな卸資産58百万円、有形固定資産48百万円、主な減少要因は現金及び預金44百万円であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して48百万円増加し、19億6百万円となりました。主な増加要因は、前受金70百万円、賞与引当金37百万円、退職給付引当金35百万円、主な減少要因は長期借入金82百万円であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して59百万円増加し、20億42百万円となりました。主な増加要因は四半期純利益76百万円、主な減少要因は少数株主持分13百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計期間末と比較して34百万円減少し、18億31百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における営業活動による資金は1億46百万円の増加(前年同四半期は2億91百万円の減少)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益96百万円、減価償却費49百万円、前受金の増加68百万円、たな卸資産の増加60百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における投資活動による資金は72百万円の減少(前年同四半期は54百万円の減少)となりました。主な要因は、敷金及び保証金の回収による収入95百万円、有形固定資産の取得による支出51百万円、無形固定資産の取得による支出33百万円、敷金及び保証金の差入による支出43百万円、保険積立金の積立による支出36百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における財務活動による資金は1億1百万円の減少(前年同四半期は2億19百万円の減少)となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出82百万円、配当金の支払額12百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成23年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

第1四半期連結会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益および経常利益はそれぞれ2,126千円減少、税金等調整前四半期純利益は24,411千円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額29,198千円であります。

(表示方法の変更)

四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,042,935	1,087,776
受取手形及び売掛金	560,915	490,988
有価証券	824,617	824,197
たな卸資産	107,468	48,829
その他	115,514	139,188
貸倒引当金	△18,519	△16,541
流動資産合計	2,632,933	2,574,438
固定資産		
有形固定資産	306,155	257,339
無形固定資産	41,725	16,817
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	471,429	482,065
その他	501,219	511,747
貸倒引当金	△4,067	△548
投資その他の資産合計	968,581	993,264
固定資産合計	1,316,462	1,267,421
資産合計	3,949,395	3,841,860
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	65,626	53,269
短期借入金	410,040	410,040
未払法人税等	10,356	18,501
賞与引当金	37,697	—
前受金	534,361	463,586
その他	100,962	130,229
流動負債合計	1,159,043	1,075,628
固定負債		
長期借入金	149,030	231,560
退職給付引当金	408,420	373,391
役員退職慰労引当金	82,383	76,758
債務保証損失引当金	11,573	15,740
その他	95,995	85,053
固定負債合計	747,402	782,502
負債合計	1,906,445	1,858,130

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	2,166,441	2,166,441
利益剰余金	△404,859	△481,801
自己株式	△208,954	△208,954
株主資本合計	2,052,627	1,975,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,171	△2,149
為替換算調整勘定	△24,791	△20,125
評価・換算差額等合計	△26,962	△22,274
少数株主持分	17,284	30,318
純資産合計	2,042,950	1,983,729
負債純資産合計	3,949,395	3,841,860

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,094,615	2,238,303
売上原価	703,463	754,305
売上総利益	1,391,152	1,483,998
販売費及び一般管理費	1,466,072	1,365,799
営業利益又は営業損失(△)	△74,920	118,198
営業外収益		
受取利息	3,406	3,079
受取配当金	922	239
不動産賃貸料	70,074	61,869
その他	19,104	9,268
営業外収益合計	93,508	74,457
営業外費用		
支払利息	8,561	6,682
不動産賃貸費用	58,140	58,183
貸倒引当金繰入額	—	2,691
その他	10,928	5,605
営業外費用合計	77,629	73,163
経常利益又は経常損失(△)	△59,041	119,492
特別利益		
固定資産売却益	1,289	114
貸倒引当金戻入額	15,572	—
債務保証損失引当金戻入額	4,166	4,166
特別利益合計	21,028	4,281
特別損失		
固定資産除却損	33	2,822
投資有価証券評価損	1,997	2,205
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,284
特別損失合計	2,031	27,312
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40,044	96,461
法人税、住民税及び事業税	12,228	21,888
法人税等調整額	△660	△4,824
法人税等合計	11,568	17,064
少数株主損益調整前四半期純利益	—	79,397
少数株主利益	10,443	2,455
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△62,056	76,941



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40,044	96,461
減価償却費	47,130	49,189
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,712	5,497
賞与引当金の増減額(△は減少)	35,697	37,697
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39,016	35,081
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,725	5,625
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△4,166	△4,166
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,284
投資有価証券評価損益(△は益)	1,997	2,205
受取利息及び受取配当金	△4,329	△3,319
支払利息	8,561	6,682
受取賃貸料	△70,074	△61,869
その他の営業外損益(△は益)	47,210	47,460
固定資産除売却損益(△は益)	△1,255	2,707
売上債権の増減額(△は増加)	△793	△76,666
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,369	△60,869
仕入債務の増減額(△は減少)	40,271	17,196
前受金の増減額(△は減少)	△214,427	68,647
未払金の増減額(△は減少)	△214,718	△43,822
その他	40,968	13,421
小計	△292,573	159,442
利息及び配当金の受取額	4,438	2,848
利息の支払額	△9,436	△6,594
賃貸料の受取額	70,074	61,041
法人税等の支払額	△13,825	△23,063
その他	△50,151	△47,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	△291,474	146,214
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△24,001
定期預金の払戻による収入	—	34,002
有形固定資産の取得による支出	△8,207	△51,872
有形固定資産の売却による収入	1,289	114
無形固定資産の取得による支出	△849	△33,395
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
投資有価証券の売却による収入	2,359	5,000
長期貸付金の回収による収入	1,605	449
敷金及び保証金の差入による支出	△17,251	△43,457
敷金及び保証金の回収による収入	2,500	95,568
預り保証金の返還による支出	—	△7,888
保険積立金の積立による支出	△35,599	△36,556
その他	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,153	△72,027

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△20,000	—
長期借入金の返済による支出	△112,180	△82,530
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,658	△6,194
自己株式の取得による支出	△79,726	—
配当金の支払額	△350	△349
少数株主への配当金の支払額	△189	△12,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219,105	△101,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,833	△6,887
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△570,566	△34,420
現金及び現金同等物の期首残高	2,566,344	1,865,973
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,995,778	1,831,553

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	CAD/CAM システム等 (千円)	金型製造 (千円)	計 (千円)	消去又は会社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,870,802	223,813	2,094,615	—	2,094,615
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,870,802	223,813	2,094,615	—	2,094,615
営業利益又は営業損失(△)	208,742	16,035	224,778	(299,699)	△74,920

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分に属する主な製品

(1) CAD/CAMシステム等・・・・・・CAD/CAM製品、保守契約サービス、開発サービス

(2) 金型製造・・・・・・金型製造請負事業

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,759,817	262,238	72,559	2,094,615	—	2,094,615
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	50,924	—	138	51,062	(51,062)	—
計	1,810,741	262,238	72,697	2,145,677	(51,062)	2,094,615
営業利益又は営業損失(△)	207,353	9,033	8,391	224,778	(299,699)	△74,920

(注) 1 地域は地理的近接度によっております。

2 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北 米・・・・米国、カナダ

アジア・・・・タイ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	263,133	202,091	601	465,826
II 連結売上高(千円)	—	—	—	2,094,615
III 連結売上高に占める海外売上高の 割合(%)	12.6	9.6	0.0	22.2

(注) 1 国又は地域の区分は、所在地別セグメント情報(注)1に同じであります。

2 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

北 米・・・・米国、カナダ

アジア・・・・タイ、中国、韓国

その他・・・・チェコ、ポーランド、メキシコ

3 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高の合計額（但し連結会社間の内部売上高は除く）であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、当社、CGS NORTH AMERICA INC. (CANADA)およびCGS ASIA CO., LTD. が「CAD/CAMシステム等事業」を、Tritech International, LLCが「金型製造事業」を、それぞれ展開しております。

各社はグループとして必要な情報を共有し、セグメントごとに戦略を立案して事業活動を行い、当社取締役会では各事業会社から受けた経営成績、財務情報の報告を基礎として、意思決定および業績評価を行っております。

したがって、当社グループは事業会社単位を基礎としたセグメントから構成されており、「CAD/CAMシステム等事業」および「金型製造事業」を報告セグメントとしております。

「CAD/CAMシステム等事業」は、金型用CAD/CAMソフトウェアの販売および付随する保守・サービス、ハードウェアの販売、受託開発を行っており、「金型製造事業」は、自動車部品等の金型製造請負を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,036,061	202,241	2,238,303
セグメント利益	404,531	433	404,965

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	404,965
全社費用（注）	△286,766
四半期連結損益計算書の営業利益	118,198

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。